

公益社団法人埼玉県理学療法士会
令和3年度第6回理事会議事録

1. 開催日時：令和3年12月21日（火）19：00～21：25

2. 会 場：インターネット会議

3. 理事現在数及び定足数

理事現在数 19名 定足数 10名

4. 出席理事数 19名

出席理事： 南本浩之、岡持利亘、水田宗達、田口孝行、原田慎一、渡邊雅恵、横山浩康
茄子川知浩、兵頭甲子太郎、赤坂清和、三宮将一、阿久澤直樹、櫻場勝、吉川貴矩
宇野潤、真下和貴、菊地裕美、乙戸崇寛、渡邊賢治

欠席理事： なし

5. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数 2名

出席監事：前園徹、清宮清美

6. 出席部長・エリア長・委員長

塚田陽一

7. 出席部員

倉持陽太（書記）

8. 議長の氏名

南本浩之

9. 議 題

<計画内審議>

令和4年度事業計画案について

【組織運営委員会】令和3年度 埼玉県理学療法士会功労賞について

<計画外審議>

なし

<報告事項>

【事務局】LINEWORKS 審議について

【財務局】令和3年度財務状況に

<その他>

【職能委員会】訪問リハビリ実務者研修アドバンスコースにおける講師について

10. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭、本理事会はインターネット会議のため出席者の通信状況を確認し、問題なく進行できることを確認した。また、議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣言した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

<計画内審議事項>

令和4年度事業計画案について

【事務局】

水田事務局長より事業計画案に沿って説明があった。

総務部

例年通りだが、埼玉県リハ三団体連絡会議に関する事、関東甲信越ブロック協議会に関する事についてどの部局にもなかったため追加した。

庶務部

ZOOM 管理システム、理事の管理、役員名簿管理、文書管理の業務を追加
予算は ZOOM 費用を追加して増額している

総会運営部

来年度は研修会のハイブリッド開催予定。予算は会場費含め40万円増額している。

厚生部

交流会を WEB 開催予定。

労務管理部

例年通り

水田：来年度、県の立入検査があるため、活動報告提出するようにしてほしい。

南本：1月までには入れるように心がけてほしい。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【財務局】

横山財務局長より事業計画案に沿って説明があった。

出納部

例年通り

会費管理部

例年通り

財務渉外部

例年通り

水田：会費管理部の予算がなかったため、検討してほしい。今後部員への日当を検討してほしい。

横山：部長と検討する

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【事業局】

茄子川事業局長より事業計画案に沿って説明があった。

高齢者福祉部

資料の通り

小児福祉部

資料の通り

健康増進部

資料の通り

スポーツリハビリ推進部

研修会を年5回開催予定。事業計画案には1回と記載があるが5回実施する。

原田：小児福祉部で動画を作成する事業がある。動画作成に関して、LINE ワークス審議に議題をあげているので規定を決めたい。

南本：動画の件に関してはLINE ワークスでコメントいただきたい。

阿久澤：ケアラー支援について。職能局の業務推進部でも同じような事業を実施している。事業局は実際にケアラーをどう支援していくか。職能局はケアラーを支援していく人を育てる。対象を分けて実施していきたい。

茄子川：手探り状態。会議を行っている。足並み揃えて情報共有していきたい。

阿久澤：特別支援級の活動をどうするか。小児福祉部と活動が重複する。

乙戸：専門性委員会の方では、教育を業務としているため事業が重複しないようにしていきたい。

南本：部局同士の絡みがあると思いますので、情報交換をしっかりとしてほしい。

岡持：ケアラー支援については、県庁に宣言を提出して、県のホームページに掲載されていますので、参考にしてほしい。

南本：ヤングケアラーだけではなくケアラー支援に力を入れていこうと思っている。

水田：予算が増額しているのは、研修会が増えたためか。

茄子川：今年度はオリンピックの関係で研修会を減らしていた。来年度は研修会が増えるため予算が増額している。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【学術局】

兵頭学術局長より事業計画案に沿って説明があった。

理学療法編集部

例年通り

研究推進部

研究補助金に関する応募数が増加していることもあり、予算を増額している
研究支援事業はコロナウィルスの影響もあり実施ができていない。感染状況も見てどのように実施
ができるか、部長とともに検討している。

田口：学術活動を積極的に実施していただくために、研究推進部の予算を増額している。理学療法編集
部に関しては、新生涯学習システムの導入に当たって学術誌に投稿しなければいけない。そちら
も協力実施していく。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【教育部】

赤坂教育局長より事業計画案に沿って説明があった。

認定・専門研修部

昨年度は研修会 6 回であったが、研修会を 4 回へ例年通りに戻している。

感染状況がまだはっきりしないため、オンラインとのハイブリッド開催を実施する予定。

前期研修部

新人教育部から前期研修部へ変更。彩の国東大宮メディカルセンターの山口先生に部長を行って
いただく。春と秋に研修会を実施していく予定。

後期研修部

資料の通り

登録・認定・専門理学療法士管理部

資料の通り

臨床実習教育部

資料の通り

指定管理者研修部

資料の通り

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

前期研修部に関しては後日 LINEWORKS にて改めて事業計画の審議を提出することとなった。

【広報局】

三宮広報局長より事業計画案に沿って説明があった。

広報誌編集部

資料の通り

インターネット管理部

資料の通り

理学療法週間推進部

コロナウィルスの影響によって事業ができないことが続いている。そのため、公共の電波を利用して啓発活動をしていく予定。昨年はラジオを使用していたが、今回は大宮アルシェのエキシビジョンを使用する予定。予算が増額している。

原田：理学療法士協会の広報局では国民が「理学療法士を知ること」「理学療法士の専門性を生かして国民に貢献すること」「理学療法士として社会にメッセージを送る」この3本柱に沿って広報している。この3本柱に沿って事業を展開していく。

水田：理学療法習慣推進部は64万増額しているがその理由は何か？

三宮：大宮アルシェのエキシビジョン使用とラジオの使用で増額している。

原田：前回の反省を生かして広報に関する時間をとっていきたい。そのため、ラジオ広報やエキシビジョンを使用している。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【職能局】

阿久澤職能局長より事業計画案に沿って説明があった。

業務推進部

地域相談窓口事業では窓口になれる人の育成、どんな社会に必要とされる理学療法士とはどのような人材かを検討する事業。業務推進部だけで行うよりも地域に出るスタッフと代表者会議、ブロックとの連携が必要になると考えている。

医療保険部

会議回数が短かったため予算微増している。また、県外講師の予算を含んでいる。

介護保険部

資料の通り

地域包括ケア推進部

会議回数を増やしているため、予算が微増している。資料の印刷等で協力者を増やしている。サポート、郵送による配布等で予算を増やしている。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【東部ブロック】

櫻場東部ブロック理事より事業計画案に沿って説明があった。

各エリア概ね例年通り大きな変更点はなし。新生涯学習システムに合わせて症例検討を増やしている。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【西部ブロック】

吉川西部ブロック理事より事業計画案に沿って説明があった。

各エリア概ね例年通り大きな変更点はなし。参議院選挙に合わせて交流会を2回増やしている。

田口：各ブロック症例検討会が予定されている。新生涯学習システム導入に合わせて症例検討会を実施する場合は登録が必要になる。また、座長は登録理学療法士でなければ成立しないので症例検討会を実施する場合は注意してほしい。

南本：症例検討会をやる場合はブロックで実施方法を検討するように

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【南部ブロック】

宇野南部ブロック理事より事業計画案に沿って説明があった。

各エリア概ね例年通り大きな変更点はなし。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【北部ブロック】

真下北部ブロック理事より事業計画案に沿って説明があった。

エリアの垣根を変えた研修会を実施していく予定。各エリア市町村会議を実施している。市町村とのつながりを深めることとエリア部員への啓発を含めて実施している。実施してどういった効果が出るのか来年度は共有して実施していきたい。

水田：予算が増額している。活動費が増えている。

真下：事前会議の回数が増えているため予算が増額している。

阿久澤：市町村、地域との連携は大事。その際、国・県で進めている事業と乖離が起らないようにしていただきたい。また、地域リハとの乖離も起きないようにしてほしい。サポートセンターのスタッフ、地域包括推進部への連絡もいただければ幸いです。

岡持：地域サポートセンターと地域事業をしている。理学療法士会との連携を進めていきたい。そのため、個人で地域との連携を実施すると混乱が起きるため注意していただきたい。

阿久澤：登録理学療法士でないと推進リーダー取れない制度が変わっていく。地域との連携を深めていくために、各ブロック推進リーダーの育成をしてほしい。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

委員会

ブロック連絡委員会

例年通り

阿久澤：業務推進部で各ブロックに地域との連携課題を共有するため、検討をしてほしい。また、座長の講師料について各ブロックどうなっているか。

水田：座長に関して各ブロックで支払い額が異なっているため、財務局と事務局、財政基盤委員会で講師料については見直していく。そのため、今後講師料の規定を再度検討する。

南本：座長やアシスタントなど定義がない方に関しても、今後定義付けをして予算を組んでいきたい。

赤坂：適正に評価することに賛成。部長などへの日当も検討してもいいのでは。

南本：部長、会計担当、部員などの処遇を考えている。現在、財政基盤委員会と協議している。

三宮：参議院選挙に向けて、連盟との連携を少し早めに動いていきたいので各ブロックで連携していきたい。

南本：この半年で、会議や連携をどのようにやっていくか検討している段階。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

第 42 回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会

会議の回数が増加、東京への視察で予算が増額。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

国際スポーツ競技対策委員会

各研修会はスポーツ理学療法技能試験認定者の 26 名を対象としている。その他変更点なし。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【組織運営委員会】

菊地組織運営委員会担当理事より事業計画案に沿って説明があった。

財務基盤検討委員会

例年通り

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された

表彰委員会

例年通り

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された

組織検討委員会

例年通り。ネットワーク会議が増えるため、予算が微増している。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

運営基盤検討委員会

例年通り。会員からの意見聴取を追加している。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

選挙管理委員会

来年度は選挙が実施されないため、減額している

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

創立 50 周年記念式典準備委員会

例年よりも会議の回数が増えるため、予算増額している。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【専門性委員会】

乙戸専門性委員会担当理事より事業計画案に沿って説明があった。

埼玉県理学療法学会評議員会

例年通り

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

第31回埼玉県理学療法学会準備委員会

運営は着実に進んでいる。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

がんリハビリテーション推進委員会

例年通り。昨年度はコロナの影響で実施ができなかった。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

糖尿病対策委員会

資料の通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された

装具療法地域連携対策委員会

資料の通り。コンテンツが増加する予定であるため、広報局と相談して予算が20万円ほど増額する予定

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

学校保健・特別支援教育推進委員会

今年度同様の内容。地道な活動を継続するために、今年度と同様の予算で考えている。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

神経難病リハビリテーション推進委員会

来年度より開催の委員会。休日難病セミナー、平日難病セミナー、神経難病リハビリテーション活動報告、神経難病リハビリテーションに関する情報収集、運営委員会を実施する。委員が多く集まったため、活発な活動になる。しかし、予算が増加している。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【職能委員会委員会】

渡邊職能委員会担当理事より事業計画案に沿って説明があった。

新分野開拓委員会

例年通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

訪問リハビリテーション振興委員会

訪問リハビリに関するホームページの検討が新たに上がっている。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

災害対策委員会

例年通り

赤坂：参加者が県内のどの辺にいるのか分かりやすくするため MAP 作成してもいいのでは。

渡邊：検討を進める。

阿久澤：アイヒートを推進してほしいと保健所から依頼が来ている。協会からは災害対策委員が良いのではという意見がある。どのような形で実施していくか？検討していきたい。

渡邊：引き続き議論が必要になりそうだと感じている。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された

職業倫理委員会

資料の通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

10年後の理学療法を考える委員会

資料の通り。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

新型コロナウイルス感染症における在り方検討委員会

メンタルヘルス研修会を中心に計画している。

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

【組織運営委員会】令和3年度埼玉県理学療法士会功労賞について

資料に基づき菊地組織運営委員会担当理事より説明があった。

今季の埼玉県理学療法士会功労賞表彰について下記の3名を推薦したい。

鈴木昭広氏（埼玉県立循環器・呼吸器病センター）

塚田陽一氏（春日部厚生病院）

渡邊孝広氏（上尾中央第二病院）

審議の結果、原案通り、出席理事全会一致で承認された。

<報告事項>

【事務局】LINEWORKS 審議について

西部ブロックでの予算について

吉川：予算報告が事後報告になってしまった。今後は予算をエリア長との相談を徹底していく。

南本：公益社団法人としての活動のため、予算を超える場合にて相談を。今後は注意が必要。

【財務局】令和3年度財務状況について

管理費は計画通り

水田：財政基盤委員会と協議している。

南本：できるだけ早く決算報告をする。

水田：予算作成におけるお願いとして 1000 円単位で予算を立てるようお願いしたい。また、補正予算の審議後の流れについてだが、審議が通ったら、理事または部長から出納部に連絡をしていただき補正予算をやり取りの方法を話し合ってもらいたい。

<その他の事項>

令和 4 年後の予算案について

水田：財政基盤委員会で決定して、2 月の理事会で審議にあげる。

訪問リハビリテーション振興委員会

渡邊：2 月 6 日に訪問リハビリ実務者研修アドバンスコースを開催するが逢坂先生をお呼びする予定である。お呼びする機会があまりない先生であるため、もし他の部局でお呼びする場合は日程を合わせたいため確認したい。LINE ワークスにて審議にあげる。

以上をもって議案の審議等を終了したので、21 時 25 分、議長は閉会を宣し、解散した。
この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

会長 _____ 印

監事 _____ 印

監事 _____ 印